



図書館休館に伴う学習場所確保のため、藤沢市役所本庁舎9階第2議会委員会室等の試行的開放を求める陳情

#### 【陳情項目】

市内図書館が利用できない期間(2/9～3/2)などこの冬期において、市役所本庁舎9階第2議会委員会室をはじめとする議会関係会議室を、試行的に受験生等の学習スペースとして開放すること。

#### 【陳情理由】

私は現在、藤沢市内に住む高校3年生です。私自身は幸いにも既に進路が決定いたしました。多くの同級生は今まさに大学受験の正念場を迎え、日々学習に励んでおります。本陳情は、受験の追い込み時期において学習場所が不足する危機的状況に対し、市議会の皆様に緊急の対応をお願いしたく提出いたしました。

私たち受験生にとって、集中して勉強できる場所の確保は死活問題です。これまでは、市役所5階の市民会議室や市内の図書館を利用してきました。特に市役所の学習スペースは、夜間でも安心して利用できる数少ない貴重な場所ですが、常に満席状態で、席を確保するために多くの苦勞を伴います。私自身もその苦勞を経験してまいりました。

そのような中、市内の図書館がシステム更新のため、2月9日から休館になることを知りました。この時期は私立大学入試のピークであり、国公立大学前期試験の直前です。多くの仲間がこれから本番を迎えようとするこの重要な時期に、学習の拠り所である図書館が利用できなくなることは、彼らにとってあまりに大きな衝撃であり、その不安を思うと胸が痛みます。

何か解決策はないかと考え、私は昨年12月22日に開催された議会運営委員会を傍聴いたしました。そこで、市役所本庁舎9階にある第2議会委員会室等の空きスペース活用について議論されていることを知りました。現在はまだ運用の詳細やルール作りについて意見がまとまっていない段階であることも理解しております。しかし、議論の決着を待ってはいは、今年の受験シーズンは終わってしまいます。「現時点では検討中」という事情は承知の上ですが、図書館が休館となり、多くの学生が行き場を失うこの緊急事態にこそ、議会として柔軟な対応を示していただきたいのです。

受験生にとって、学習の内容だけでなく、学習する「場所」は結果を左右する重要な要素です。経済的事情や家庭環境によって、自宅で十分な学習環境を確保できない生徒も少なくありません。公共施設が果たす役割は大きく、市が若者の学びを支える姿勢を示すことは、将来の藤沢市を担う人材を育てることにもつながると考えます。

つきましては、図書館が利用できなくなる期間の緊急措置として、また今後の本格運用に向けた試行として、藤沢市役所本庁舎9階第2議会委員会室等を学習スペースとして開放していただきますよう、一人の市民として強く要望いたします。

2026年 1月 9日

住所：神奈川県藤沢市本町1丁目5番20号

氏名：石原幹太

藤沢市議会議長 山口政哉 様